

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)(株)インスマタル 千葉土気	階数	地上1F	
建設地	千葉県千葉市緑区大野台1丁目5-3	構造	S造	
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	33 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,040 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年9月5日	
敷地面積	13,408 m ²	作成者	上本 善紀	
建築面積	4,077 m ²	確認日	2022年9月5日	
延床面積	3,798 m ²	確認者	上本 善紀	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.7 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+ (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質 Q のスコア = 2.3 Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0 Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.5 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア = 0.0 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2 LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2 LR のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
千葉市に建つ平屋の工場である。 敷地内は緑化や十分な空地を設けることで、暑熱環境やヒートアイランド化抑制に配慮した計画とした。 建物は、耐用年数の長い材料を用いるなど維持管理・更新性に配慮して計画した。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
—	耐用年数の長い材料を用いるとともに階高等にもゆとりをもたせ、材料の維持・更新性に配慮した。	敷地内には十分な空地を確保することで風を導き、暑熱環境の緩和に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
—	節水型機器、省水型機器を採用し水資源保護に努めた。また、解体時に躯体と仕上げ材が分別可能となるよう配慮した。	敷地内にはできる限り緑化を施し、建物は卓越風に対する見付面積を小さくするなど、風通しに配慮しヒートアイランド化の抑制対策を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される